

畜 産 学

学科		シラバス(概要)
コース		酪畜産業の概要と牛について理解し、説明ができるようになる。生産現場から消費者までの生産物の流れとそこに係る人々と支援者の役割を理解する。
履修条件	自律学習修了し理解度確認「振り返り」課題提出した者	
ユニット	畜産学概論	
科目名	酪畜産業の基礎	
単位		
履修時間	15時間中の6時間	
回数	3回中の1回	
授業形態	対面授業	評価方法
作成者	中田 健	本講座5時間目に対面学習確認テストを実施する。60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
教科書		
参考図書	図解 知識ゼロからの畜産入門(家の光協会)、家畜飼育の基礎(農学基礎セミナー)(農山漁村文化協会)	

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	酪畜産業とは	1.シラバスとの関係	酪畜産業ならびに家畜の説明	
		2.コマ主題	酪畜産業の特色を理解する。	
		3.コマ主題細目	①酪畜産業、②家畜としての牛、③地域性について	
		4.コマ主題細目深度	家畜化された動物、牛に人が期待する役割について理解する。日本の酪畜産業の地域性について考えることができるようになる。	
		5.次コマとの関係	酪畜産物の生産現場から消費者までの基礎を理解する	
2	酪畜産業を取り巻く環境と現状	1.シラバスとの関係	酪畜産業を取り巻く環境と現状の説明	
		2.コマ主題	国内の酪畜産業の現状を理解する	
		3.コマ主題細目	①日本の酪農の現状②牛の特徴	
		4.コマ主題細目深度	日本の酪農の現状について、理解する。酪農の飼養形態の多様性、地域特性を知る。	
		5.次コマとの関係	地域性から実際の生産現場の状況を理解する	
3	牛の生産現場	1.シラバスとの関係	牛の飼養環境の説明	
		2.コマ主題	牛が飼養されている環境を理解する	
		3.コマ主題細目	①飼養形態②飼料③給餌④搾乳	
		4.コマ主題細目深度	牛が飼養されている環境についてイメージができるようになる	
		5.次コマとの関係	乳用種および肉用種の管理の基礎	
4	乳用牛の管理	1.シラバスとの関係	乳用牛の管理について説明	
		2.コマ主題	乳用牛の生産サイクルに合わせた管理を理解する	
		3.コマ主題細目	①哺乳期②育成期③分娩④生産環境	
		4.コマ主題細目深度	出生から分娩、分娩から分娩までの乳用牛の管理の概要	
		5.次コマとの関係	肉用牛の対比とする	
5	肉用牛の管理	1.シラバスとの関係	肉用牛の管理について説明	
		2.コマ主題	肉用牛の生産サイクルに合わせた管理を理解する	
		3.コマ主題細目	①子牛②素牛③繁殖牛④肥育牛	
		4.コマ主題細目深度	出生から肥育素牛、分娩の管理、肥育牛の管理の概要	
		5.次コマとの関係	まとめと確認テスト	

畜 産 学

学科		シラバス(概要)	
コース		酪畜産業の生産管理の概要、および生産現場での環境および牛を評価するための基礎知識を修得する。	
履修条件	自律学習修了し理解度確認「振り返り」課題提出した者		
ユニット	畜産学概論		
科目名	生産管理の基礎		
単位			
履修時間	15時間中の5時間		
回数	3回中の1回		
授業形態	対面授業		評価方法
作成者	中田 健		本講座5時間目に対面学習確認テストを実施する。60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
教科書			
参考図書	畜産学入門、カウシグナルズ		

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	乳生産と繁殖/疾病	1.シラバスとの関係	生産と繁殖の関係、疾病について説明	
		2.コマ主題	生産動物における繁殖、および疾病を理解する。	
		3.コマ主題細目	乳牛の繁殖、疾病	
		4.コマ主題細目深度	生産動物の繁殖に必要な内容を理解する。乳牛に多発する疾病について概要を理解する。	
		5.次コマとの関係	繁殖障害、周産期の疾病など生産性を阻害する要因	
2	乳牛の生産阻害要因/環境と病気	1.シラバスとの関係	生産動物の生産阻害要因の理解と予防について説明	
		2.コマ主題	生産阻害要因およびそれらの予防について理解する	
		3.コマ主題細目	生産阻害要因、予防、環境	
		4.コマ主題細目深度	生産阻害要因をコントロールおよび予防するための環境について理解する	
		5.次コマとの関係	環境の問題を知る牛の見方の概要、休息環境	
3	牛群の健康管理 1)カウ・シグナルズpart1	1.シラバスとの関係	環境の問題を牛から見るためのカウ・シグナルズについて説明する。概要と休息環境。	
		2.コマ主題	牛の視方、休息環境の視方の理解	
		3.コマ主題細目	生産現場での牛の視方、休息環境の視方	
		4.コマ主題細目深度	牛を視て環境の問題を判断するための基礎的な理解	
		5.次コマとの関係	環境の問題を知る牛の見方、飼槽水槽環境、搾乳環境	
4	牛群の健康管理 2)カウ・シグナルズpart2	1.シラバスとの関係	環境の問題を牛から見るためのカウ・シグナルズについて説明する。飼槽および水槽環境と搾乳環境、その他。	
		2.コマ主題	飼槽環境、搾乳環境、その他の視方	
		3.コマ主題細目	飼槽環境、搾乳環境、その他の視方	
		4.コマ主題細目深度	牛を視て環境の問題を判断するための基礎的な理解	
		5.次コマとの関係	牛群としての牛のモニタリングの概要	
5	牛群の健康管理 3)牛のモニタリング	1.シラバスとの関係	生産農場で管理を評価するための牛のモニタリングの紹介を行う	
		2.コマ主題	栄養状況、衛生環境等のモニタリングについての理解	
		3.コマ主題細目	BCS,ルーメンフィルスコア、衛生スコア、歩様スコア	
		4.コマ主題細目深度	牛のモニタリングの概要を理解	
		5.次コマとの関係	まとめと確認テスト	

畜産学(宮崎開催)

学科	畜産学	シラバス(概要)
コース		
履修条件		元々動物看護学や動物に関心のある学科を選択し学んだ経験のある動物看護師や動物系職業人などの人材が、更に畜産学を学び直し、畜産業のうち酪農業の盛んな地域である北海道、肉用牛の盛んな地域である九州(宮崎県)において、地域ニーズに対応し、地域の基幹産業である畜産業を担う人材となるよう養成する。
ユニット	畜産学	そのために、「畜産学概論」として、畜産経営入門、家畜(乳牛・肉用牛)飼養管理、畜舎施設と農業機械、粗飼料生産・調整と土壌管理、乳質管理と乳牛(札幌のみ)、肉質管理と肉用牛(宮崎のみ)、農業経営と経済、家畜の福祉などを、体系的に学ぶことが必要である。
科目名	肉用牛・畜産業の基礎	特に、動物看護師や動物系職業人が既に持っている動物看護からの視点「疾病動物の看護を行うだけが動物看護師などの役割ではなく、動物の健康とは何かを知って動物そのものを観察すること」を、畜産業(酪農・肉用牛)に最大限に活用できるよう、動物看護の視点を畜産に取り入れてるための基礎的な知識を修得する。
単位		
履修時間	5時間	
回数	5回	
授業形態	対面授業	
作成者	三上 隆弘	本講座では5時間の対面授業後に、最終コマ(5時間目)で理解度確認テストを実施する。
教科書		60点以上を合格とする。
参考図書		

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	食料を生産するための畜産とは？ 畜産を取り巻く支援体制とは？ 動物看護師などの持つ動物看護からの視点を畜産に応用する方法を学ぶ。	1.シラバスとの関係 2.コマ主題 3.コマ主題細目 4.コマ主題細目深度 5.次コマとの関係	動物看護師などに必要な畜産の基礎的知識を学ぶ。 畜産の基礎的知識と畜産としての肉用牛とは？を学ぶ。 動物看護からの視点や動物看護師などに求められる能力を、畜産に応用する方法とは？ ①日本の畜産経営、肉用牛経営の生産サイクルと経営分類を学ぶ。 ②牛の「放牧地」での行動(歩行・草を食べる・休む・起立する)から、家畜を「見る」ことの重要性と、見るべきところを理解し、畜産の根本を知る。 ③家畜は人間の暮らしを支える動物であるが、もともとは野生動物で、人が家畜化した意味を学ぶ。 ④家畜と畜産とは？、更にその中の肉用牛と肉用牛経営とは？を学ぶ。 ⑤産業動物とコンパニオンアニマルの決定的な違いを知る。 ⑥動物看護師に求められる能力と畜産で求められる能力を比較しながら畜産における動物看護師などの優位性を学ぶ。 ⑦畜産を取り巻くJA(農協)などの支援体制について学ぶ。	
2	畜産の中でも、肉用牛の基本として肉用牛の4区分と各品種、肉用牛の一生、具体的な作業体系をととして、動物看護師などが肉用牛経営の現場に深く関わるための視点を養う。	1.シラバスとの関係 2.コマ主題 3.コマ主題細目 4.コマ主題細目深度 5.次コマとの関係	肉用牛の具体的な作業体系から、家畜の中の肉用牛の飼養管理、畜舎施設と農業機械、粗飼料生産・調整と土壌管理などを学ぶ。 肉用牛経営の具体的な作業体系を学ぶ。 動物看護師などが肉用牛の現場を知るための基礎的な作業を学ぶ。 ①肉用牛の区分と各品種、特徴(牛は4つの胃を持つ。) ②肉用牛の体型的な特徴と各部の名称 ③肉用牛(繁殖・肥育)経営を実際の農家事例から学ぶ。 ④えさの給餌作業、えさ作り(牧草・とうもろこし生産など)、ふん尿処理、子牛の哺育育成、その他の管理技術・機械など、具体的な作業を学ぶ。	
3	畜産業としての肉用牛経営は、産業動物を飼養し経済行為を安定的に継続することが求められる。経済行為から得られる各種データは、経営を改善するための重要な改善方法を導き出す。そのため経営・経済データから肉用牛経営を見る目を養う。	1.シラバスとの関係 2.コマ主題 3.コマ主題細目 4.コマ主題細目深度 5.次コマとの関係	畜産は産業動物を飼養し経済行為を行なっている。そのため、肉用牛を経営の視点から知るために農業経営・経済の仕組みを学ぶ。 肉用牛の経営・経済データから具体的な問題点と改善策を学ぶ。 動物看護師などが肉用牛の経営・経済データなどから、具体的な問題点と改善方法を学ぶ。 ①肉用牛経営に必要な基本的なデータとデータの活用方法とは？ ②動物看護師などだからこそ視ぬける、青色申告書の中の「生産費用」と連動した具体的な問題点と改善方法とは？ ③特に、生産費用の中の「四大費用」である、労働力、購入飼料費、減価償却費、もと畜費から、改善策を見つける視点を養う。	
4	地域の基幹産業である肉用牛経営の発展は、肉用牛を健康に飼うことが絶対条件となる。動物看護師などが既に持っている動物看護からの視点を畜産に当てはめ、肉用牛を健康的に飼うための視点を養う。	1.シラバスとの関係 2.コマ主題 3.コマ主題細目 4.コマ主題細目深度 5.次コマとの関係	畜産の経営を安定的に発展させるためには家畜を健康に飼うことが最も重要である。肉用牛から家畜の福祉の視点を学ぶ。 肉用牛を健康に飼う方法を学ぶ。 いかに、肉用牛にストレスを与えない環境で飼うか、6つの視点から「畜舎内」の環境をチェックする方法を学ぶ。 ①肉用牛の「6つの自由」とは？ ②「6つの自由(空間・えさ・水・光・空気・休息)」の、具体的な視点と改善ポイントとは？ ③基本は「牛が何を求めているか？」を、人の「五感」で感じ素早い改善へ。	
5	動物看護師などが肉用牛の現場で働く、さらに肉用牛農家になるための視点を養う。	1.シラバスとの関係 2.コマ主題 3.コマ主題細目 4.コマ主題細目深度 5.次コマとの関係	動物看護師などが養いもつ動物看護からの視点を、肉用牛の現場で就業、もしくは就農し、最大限に発揮するための視点を学ぶ。 肉用牛の現場で働く、肉用牛農家になるための方法を学ぶ。 新規就業や就農のフローチャートや、実際の研修牧場や和牛入門講座などの取り組みを学ぶ。 ①新規就農に畜産大学校、畜産大学の卒業は必要か？ ②肉用牛農家になるための第一歩は、良い「指導者」を探すこと。 ③肉用牛農家になるための研修場と施設など。 ④理解度確認テスト 肉用牛経営の現場で就業、就農するための方法を学ぶことで、肉用牛の家畜繁殖や家畜飼養管理学の学びが、より現実的なものとして理解を深める。	